

18年度イベント反省事項と次回改善策

反省事項	なぜ	改善策	いつから
11月11日新見大会			
運営者が4名しかいなかった。		広大4名が由加山運営のため手伝ってくれたので何とか回せた。	
上位ルート記入依頼忘れ。ナビゲームできず。	運営が忙しすぎ気が付いた時は遅すぎた。	計セン担当と分けるようなやり方が必要。	
12月9日吉備中央公園大会			
表彰の時優勝者に全コントロール図を副賞で渡すことにしているが忘れが多々あった。	早く帰る人が多くばらばらの賞状授与も影響したか。	計セン担当と分けるようなやり方が必要。	
2月17日福田公園大会			
ナビゲーム用意していたが誰もやらなかった。	対象者はそれなりにいたが、積極的な勧誘をしないからかも。		
3月17日吉備高原大会			
上位ルート記入依頼忘れ。	運営が忙しすぎ気が付いた時は遅すぎた。	計セン担当と分けるようなやり方が必要。	
4月7日ハイツdeオリエンテーリング			
メールでの申し込みで2件の忘れ?と1件のクラス間違いが発生。	?		
4月21日白石島大会			
A/Vクラス受付で長い行列ができた	該当者が9:45着フェリーに集中した。参加費徴収などの手続きは2人でもできるはずなのでフレキシブルな対応をしたい、と昨年反省していたができていなかった。		
コントロールつけ間違いが試走で判明した。	事前のマーキング時確認を怠っていた。	マーキング時複数の目でのチェック、コントロール設置時の確認、と試走時の確認のトリプルチェックの再徹底。	

※やはり事前準備、当日運営共、少数運営対応によるひずみが徐々に実害となって出てきているように思われる。